



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

February 2004 No.8
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2003~2004)

クラブ会長 : 『個性を認めて共に前進』
 国際会長 : 『Be Agents of Change』 『変革の担い手となろう』
 アジア会長 : 『New thinking, New Action』
 『新たな思考で、新たな行動を!』
 西日本区理事 : 『未来に架ける橋』
 中西部長 : 『分ち合い 共に歩むワイズ』

クラブ役員 Officers

会長 : 谷川 俊一
 副会長 : 松浦 孝次
 // : 石津 雅人
 書記 : 山田 孝彦 (主)
 // : 栗山 佳三
 会計 : 三浦 直之 (主)
 // : 鎌田 史朗
 ネット会長 : 松浦 和子
 Y連絡員 : 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『TOF・CS』

㊦㊦㊦ 2月の聖句 ㊦㊦㊦
 [Biblical Message of February]

㊦㊦㊦ 2月の例会 ㊦㊦㊦
 [February Club Meeting]

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。
 彼らは剣(つるぎ)を打ち直して鋤(すき)とし、
 槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上
 げず、もはや戦うことを学ばない。ヤコブの家よ、
 主の光の中を歩もう。(イザヤ書 2章4~5節)

○ 2月 第1例会

日時: 2004年2月18日(水) 18:30~20:30
 場所: 東洋ホテル3階

司会 浜野 昌保君

1. 開会点鐘 谷川 俊一 会長
2. ワイズソング ー 同
3. ゲスト紹介 谷川 俊一 会長
4. 聖句朗読 三浦 直之 君
5. 今月のテーマ 中村 茂高 君
6. 日々の糧・軽食 ー 同
7. ゲストスピーチ 可奈 潤子 氏
 (宝塚歌劇団10年在籍 ジャズダンス、クラシック
 クラレエの教室「スタジオ・グランパレ」経営)
 「ダンスの向こうに輝く人生を求めて」
8. インフォメーション 各 担当
 YMCAニュース 連絡 主事
9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
10. 閉会点鐘 谷川 俊一 会長

㊦㊦㊦ Attention Please ㊦㊦㊦

お年玉つき年賀はがきの当選切手を集めて、2月例会にご持参
 ください。1人あたり14シート、金額換算で1,800円。目標
 枚数に達しないときは、差額を現金でお願ひします。リストコ
 イン(1円玉貯金)もあればお持ちください。いずれもCSファン
 ドに寄金します。
 2月例会はタイム・オブ・ファスト月なので、軽食とし、献金に
 振り向けます。

*2月例会当番 5班 (三浦、浜野、新保)

*2月お誕生日 Happy Birthday!

福永メネット16日、田中メネット19日、石津君21日、
 池永君25日

○ 2月 第2例会

日時: 2004年2月25日(水) 18:30~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち 広義会員を表わす

2004年1月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メン	11名	7名	1月:切手 464 gr. 現金 2,000円	1月:12,100円
例会出席 13名	メネット	5名	名		
うちメークアップ 1名	ビジター	名	名		
	ゲスト	名	名		
出席率 65.0%	合計	16名	7名	(03年7月~04年1月の) 累計:切手 4,464 gr. 現金 15,000円	(03年7月~04年1月の) 累計: 240,200円 (除く、クリスマス献金、 オークション、記念献金)

今や世界の人々の目は、イラクに注がれているように思われます。その中で日本の自衛隊のイラクへの派遣は、国論を二分するほどに大きい問題となっています。その背後には、北東アジアの緊張関係、パレスチナ問題、石油資源の問題など、複雑な事情が絡んでいることは言うまでもありません。

そのような社会情勢の中で、今月の聖句として取り上げた神の教えは、大きい警告と受け取れるでしょう。

従ってこれを現在の日本の国情から考える時、みずからの問題としてそれぞれに心に問いかけることが大切と考えます。現在の日本では、あまりにも「祖国の命運」について考えなさ過ぎると思います。

第二次世界大戦後、多くの人々の犠牲の上に生まれた国際連合が、その力を取り戻して世界の平和のために動く日が、一日も早く来ることを祈ってやみません。

(聖句選、コメント 黒田巖之)

1月 第1例会

【 Report of the February Club Meeting 】
 (1月21日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)
 プリテン:松浦 孝次

● 大寒にふさわしい寒さが到来した夜、クラブのメン11人、メネット5人が出席して、今年初の例会をもった。福永嘉彦メンの司会のもとに、坂本千春メネットによって聖句の朗読、今月のテーマ「IBC・DBC」については山田彦彦メンから 風邪で休みの藤原正巳メンに代って解説(第3面)があった。

● 晩餐のあと、定例のクラブ総会(議長:谷川俊一会長)に移り、議案「次期クラブ役員案」を満場一致で承認議決した。(その内容は第4面に記載)。

● 畠中 彬メンのスピーチ「アメリカン・プロジェクトを支えるボランティアネットワーク」を聴いた(以下)。

「なぜキャンプをするのか」

① 最近の子どもたちの姿は・・・

○ ゆで卵の湯に手を突っ込む子、タオルをしぼれぬ子、骨折や捻挫が多く、ぎっくり腰の子もいる。

1,000M以上の山に登ったことがない子が70%、日の出・日の入を見たことがない子が50%、魚釣りや木登りをしたことがない子が30%あるなど、総体に自然体験が少ない。

○ 価値観はどうか。キャンプで「お世話になりました」とお礼がいない子がいる。「ボクはお金を支払ったお客だから」と、お金を支払う人がエライんだ、との価値観。

♂

♂ 子どもをとりまく環境が問題。環境を変えることだ。

○ ここで、メンバー全員に「いま多すぎると思うもの」「少なすぎると思うもの」を挙げる質問があって、その回答を列挙した。前者は、ゴミ、自動車、食材など。後者は、緑ある自然、思いやり、公徳心など。

② キャンプのよさ

キャンプ場は、いまの世で少ないものを増やし、多すぎるものを減らした環境といえる。

キャンプは、いつもの生活のように自由にはできないことから、日頃の生活のありがたさを知る機会になっている。

③ 青少年リーダーの役割

グループワークを通し、同世代の子どもたちが交流して、各自が変わっていく。それを指導するのが青少年リーダーだ。

キャンプでは結果ではなく、経過を重視する。子どもたちがどれだけ頑張ったか。その過程をリーダーがずっと見守っていく。

感動する場面を用意してあげる役割もある。たとえば、セミの脱殻。夜明け前から2時間観察して、感動した子どもたち。生き物をいとおしく思う心を育むだろう。

④ 連携

青少年リーダーは、多くの組織に属し、大阪府下中心で300人を越える。学生が多いが社会人もいる。こうしたグループ、リーダーと、われわれのようなボランティアクラブとの連携が可能である。

● 坂本千春メネットから、3月6日の中西部合同メネット会のPRがあった。わがクラブメンバーは、メン、メネットともぜひとも出席してほしいものである。

浜野昌保メンからは、ミヤマーYMCA から、わがクラブからの支援に対するお礼のレターが届いたことへの報告、またクリスマス献金は1月末まで受けつけており最後の追い込み時期であるのでご協力をよろしくとの依頼、があった。

おわりに、1月のお誕生日祝いを行って閉会。わがクラブの新年はこれをもって幕を開いた。



(1月例会の風景 I — 畠中 彬メンのスピーチを聴く)

January 21, 2003.

At the club's January meeting, a total of 16 Y's men and Y's menettes were in attendance. Y's men's emphasis for January was IBC/DBC activities, and Y's man TAKAHIKO YAMADA, secretary of our club outlined the meaning and purpose of the IBC program by introducing the story of our Brother Club affiliations with two overseas brother clubs, the Nuuanu Club of Hawaii and the Bauhinia Club of Hong Kong.

In 1991, we were successful in having the "triangle gathering" of three clubs in Hong Kong and developed our friendship among our club members.

In 1999, a total 12 Y's men and Y's menettes participated in the US Area Convention held in Hawaii where they could have the opportunities of deepening ties of friendship with the Nuuanu Club members.

The visit of Hiranaka families to Japan in 2003 was another opportunity of deepening our fellowship - among not only active Y's men and Y's menettes but even retired Y's men and Y's menettes to reconfirm the long-standing friendship.

At the general meeting followed, Y's man MASATO ISHIZU was nominated as the incoming president of the club. His term begins on July 1st, 2004. All other officers nominated are shown on the page 4.

The highlights of the January meeting was the speech made by Y's man AKIRA HATAKENAKA, our club member in his long career as a camping coordinator, spoke about the present situation of the camping activities for children in Japan and he stressed strongly why these activities were indispensable for the sound growth of children in this country.

IBCとは?

IBC・DBC委員長：藤原 正巳

IBCとはInternational Brother Club、国際兄弟クラブの略称です。クラブが、特定の「外国のクラブ」と兄弟の縁組を締結して、交流を続けることを目的としており、ワイズ運動の世界的な発展と、国境を超えた会員の相互理解を図る上で大きな意義のある活動です。

現在、日本のワイズメンズクラブは東西合わせて142クラブありますが、このうちIBCを締結しているクラブは全体の2/3、その7割が韓国・台湾のクラブが相手先です。これらの地域のクラブリーダーが、かつての日本植民地時代に育った日本語に堪能な世代だったことが主な

理由であり、今後の交流継続には言葉の壁の克服が課題になるのではないかと思います。(ちなみに、国内クラブとの交流を目的としたDBC締結クラブは全体の1/3です。当クラブは、締結実績はありません。)

当クラブは、「ハワイ・ヌアヌクラブ」、「香港・ボヒニアクラブ」の2つのクラブと20年ほど前からIBCを締結しています。そのほかにインドの「Ernakulum Club」ともIBCを締結していましたが、実質的な交流関係がなくなり、2000年に縁組を解消しました。

これらブラザークラブとの交流については、1991年7月には香港で3クラブ合同の集いを持ち(会員・メネット約20名が参加)、また1999年6月には会員・メネット12名がハワイで開催された米国大会に参加する形でヌアヌクラブ会員と交流しました。が、その後は主として各クラブの会員による個別交流が中心になっています。

ワイズ会員になっての最大のメリットは、外国に志を同じくする仲間がいることであり、また、初対面であっても古くからの友人・知己と同様に友情と信頼が得られることです。海外に出かけ、ブラザークラブの皆さんから笑顔で温かく迎えられた時ほどワイズメンになってよかったと思う瞬間はありません。

日々のワイズ活動に意義を見出し、このようなワイズ会員ならではのメリットを享受するためにも、積極的に国際大会に出席し、ブラザークラブ会員などとの交流をはかりましょう!

8月に実施したい

こどもフレンドリーキャンプ第2弾

CS委員長：中村 茂高

沖縄、韓国の子もたちが「日米の架け橋」として、また奈良の在日外国人の子もたちも加わり、将来わが国もそうなるであろう「多文化共生社会」の担い手として、それぞれが積極的な人生を歩んでほしい。そのような願いのなかで、同じ境遇にある子どもたちが交流しあうことが大切だという観点から、「第1回アメリジアンキャンプ」が行われました。この催しにはたくさんの人たちが協力し、クラブの20周年事業としても大きな成果をあげることができました。そして今年の8月、またアメリジアンの子もたちを大歓迎することができます。

今回のねらいは、4つあります。まず1つめは、レクリエーションの機会が少ない子どもたちにキャンプを楽しんでもらうことです。またキャンプを通じてお互いの悩みや問題を共有しあい、自分たちで解決する力を養ってほしいということです。

2つめは、このキャンプを通じて、沖縄のアメリジアンの子もたちを中心にしたマイノリティー(少数派)の子もたちのネットワークづくりです。私たちはキャンプや講演会を通じて、奈良の中国帰国者や愛知の日系ブラジル人の子もたちとのつながりもできました。

3つめは、一般の青少年も募集し、共有し合える仲間の輪を広げてゆくことです。異質なことを受け入れにくい日本人の性格は、学校教育のなかでもいじめや (第4面につづく)

が、不登校などさまざまな問題を引き起こしています。一般の青少年にとっても、「多文化共生」という切り口が教育上の問題を解決する新しい糸口になるかも知れません。

4つめは、マイノリティーの子どもたちの存在を社会にアピールしてゆくことです。新聞、テレビなどのメディア、またたくさんの方のボランティアが協力することで、社会的ムーブメントになればと考えます。私たちが定期的にイベントすることによって社会的注目を集め、子どもたちの問題をクローズアップさせることも大事だと思います。

計画の詳細は、次のとおりです。

とき：04年8月25日(水)～28日(土)・3泊4日
 ところ：六甲山YMCA、大阪府立青少年海洋センター
 主催：大阪のファミリークラブ、大阪YMCA、関西テレビ青少年育成事業団、アマガアール・イン・井村、ならファミリー&ルグド
 後援：(予定)朝日新聞厚生文化事業団、大阪府キヤパ協会
 対象：アマガアール15人、一般青少年25人(小5・高校生)、ならファミリー&ルグド5人、日系アマガール5人(計50人)
 引率・指導：リーダー15人、沖縄5人、大阪5人、(総数75人)
 予算総額：約250万円

2004/2005年度の クラブ役員

(Club Officers for 2004/2005)

会長 President 石津 雅人 Masato Ishizu
 副会長 V. President 谷川 俊一 Syunichi Tanigawa
 録田 史朗 Sirou Kamada
 書記 Secretary * 山田 孝彦 Takahiko Yamada
 栗山 佳三 Keizo Kuriyama
 会計 Treasurer * 三浦 直之 Naoyuki Miura
 録田 史朗 Sirou Kamada
 ネット会長 Y's menette President
 坂本 千春 Tuaru Sakamoto
 プリテン Bulletin・広報 PR
 * 松浦 孝次 Koji Matsuura
 石津 雅人 Masato Ishizu
 EMC EMC 畠中 彬 Akira Hatakenaka
 交流 BC/DBC YEEP/STEP
 * 藤原 正巳 Masami Fujiwara
 永島 寧 Yuasusi Nagasima
 ファンド BF/EF/JWF
 * 栗山 佳三 Keizo Kuriyama
 三浦 直之 Naoyuki Miura
 地域奉仕 CS/TOF 中村 茂高 Shigetaka Nakamu
 Yサ・ユース YMCA Service ASF/YA
 新保 正之 Masayuki Sinnbo
 聖句 Biblical-Message
 黒田 巖之 Yoshiyuki Kuroda
 連絡主事 Related-Secretary
 浜野 昌保 Masayasu Hamano
 会計監査 Auditor 福永 嘉彦 Yoshiniko Fukunaga
 注 2004.7からの新役員です。(*は 主担当)

2004年度中西部新年会に出席して

藤原 正巳

新年早々バタバタ続きで気持ちの落ち着かない日々を過ごしましたが、中西部の新年会に出席して大変すっきりした気分になりました。

新年会は大阪西クラブがホストをされ、お正月気分の残る1月10日に大阪厚生年金会館で開催されました。

当クラブからは鈴木、黒田、山田、栗山、畠中、三浦、藤原の各メンと、松浦、坂本両メネットが出席されました。

前半の式典部門では、黒田メンの聖句朗読とメッセージがハイライトで、社会現象とワイス活動を結びつけた分かりやすい聖句解説は、いつもながらの心に沁みるメッセージでした。

後半の懇親会は沢山のご馳走に囲まれ楽しい歓談のひとつときでしたが、元NHKのアナウンサーで、ソプラノ歌手として活躍されている梅谷裕子さんの華やかな容姿と歌の数々は、聞く者をして夢の世界に誘い、音楽が癒しの効果を持っていることを改めて認識させてくれるに十分でした。

すてきなワイスの仲間の笑顔と、素晴らしい音楽で私の本年のワイス活動が始まりました！



(新年会でのわがクラブ9人衆——大いに楽しみました！)



(新年会を飾ってくれたソプラノ歌手の梅谷裕子さん！)

お知らせ

1. 中西部合同メネット会

日時：04年3月6日(土) 1200~14:30
(11:30~ 受付)

場所：大阪YMCA会館 10階会議室

プログラム：議事、昼食(幕の内)、桂 吉弥さんのお断

* 坂本千春・中西部メネット主査が主宰します。ホストクラブはセンテナアルクラブ。会費 3,000円。

2. イラン地震救援の街頭募金にご協力を・・・

日時：04年2月11日(金) 13:00~15:00

場所：梅田大丸東側、および心斎橋大丸東側

大阪YMCAとワイズメンズクラブ中西部・阪和防協共催で街頭募金を行います。募金そのものにもご協力ください。

3. 土佐堀YMCAの環境教育セミナー

日時：04年3月22日(金) 19:00~20:30

場所：大阪YMCA会館 会費は無料

プログラム：「燃料電池とは？」

講師：宮崎 義憲氏(産業技術総合研究所)

*パソコン、自動車、家庭用エネルギーなどに燃料電池の実用化は目前にせまっています。環境改善の切り札です。

1月第2例会

【Report of the January Club Meeting】
(1月28日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)

1. 2月第1例会プログラム

第1面のとおり。ゲストスピーカー可奈潤子さんから、華麗な世界だが哀愁あふれる人生ドラマのお話の聞けることを期待する。TOFの月であり、軽食とする。またCFファンへの寄金として、お年玉つき年賀はがきの当選切手を持ち寄る。

2. 協議事項及び連絡事項

(1) イラン震災救援募金について

2月11日の梅田大丸前の街頭募金に協力することにし、クラブメンバーに呼びかける。

(2) こどもたちフレンドリーキャンプについて

多文化共生社会の実現をめざし、8月にフレンドリーキャンプを行う計画を、趣旨、資金面、協力団体などについて討議した。

(3) その他

土佐堀運営委員会からの報告(03年12月のクリスマス、協力会員アンケート、環境教育セミナーなど)があった。

1月BFニュース

【Report of the Brotherhood Fund in January】

BF委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：栗山、山田君

◇切手提供者：山田、鈴木、栗山、隅田、三浦、福永君

今月の殊勲賞：山田君 230gr(注. 提供者不明 180gr)

YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

昨年12月22日~29日にミャンマー・スタディツアーが行われました。ト田徹三常議員を団長とする7名で、センテナアルワイズからのチャイルドケアへの支援金も持参していただきました。詳しくは後日報告させていただきます。ありがとうございました。

★「自分を見つめる 相手を知ろう」

日時：2月15日(日) 午後1時30分~3時

場所：YMCAサンホーム

講師：清家昌宏氏(大阪府キャンプ協会理事)

問合せ：YMCAサンホーム Tel06(6787)3733

*お互いを理解するためのコミュニケーションをゲームやグループ体験を通して学びます。

★環境教育ワークショップ2003

日時：2月17日(火) 午後7時~19日(木) 午後3時

場所：里山の自然学校「紀家わんわん村」

講師：西村仁志氏(環境教育事務所カールズ代表)

問合せ：紀家わんわん村 Tel0724(85)0661

*環境教育体験学習の手法を学びます。

★第130回大阪YMCA早天祈禱会

日時：2月20日(金) 午前7時30分~8時30分

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：森本榮三氏(高槻YMCA協力会員)

問合せ：大阪YMCA Tel06(6441)0894

★鉄わんクラブ ~食から広がるあなたの世界~

日時：2月22日(日) 午前10時~午後3時

場所：里山の自然学校「紀家わんわん村」

問合せ：大阪YMCA Tel06(6441)0894

*キムチづくり、韓国の伝統遊びを通して多文化を学びます。

★六甲マントルピースを囲む会

日時：2月27日(金) 午後7時~午後9時

場所：六甲山YMCA

ゲスト：高橋敏三氏

(神戸市建設局 公團砂防部陸林整備事務所所長)

問合せ：六甲山YMCA Tel078(891)0050



【 Messages from the Club Members 】

“ごひさだ”メッセージ

- 年度末を迎えて忙しくしています。皆さまによろしくお伝えください。(新保 正秋)
- 第1例会は、枚方YMCA運営委員会があり、委員長ですので休めません。あしからず。(谷川 寛)
- 結局、全部欠席せざるを得ないことになりまして、申し訳ありませんが、お許しください。皆様によろしくお伝えください。(永島 寧)
- 第1例会は欠席いたします。翌日朝早く出て、桂の老人ホームに行かねばなりません。私のいまの体調では少々ハードな予定になります。正月早々欠席で申し訳ありません。ご盛會を祈り挙げます。(黒田 敏之)

会員からのメッセージ

- 1年の過ぎるのが早いと感じています。何も出来ないで時が過ぎて行くようです。(鎌田 史朗)
- 次期クラブ役員案も承認され、新年度の基礎が固まりました。アメリカンキャンプ第2弾も具体化に向けて進みはじめました。大変ですがみんなで頑張らしましょう。(栗山 圭三)
- 畠中さんのユニークなスピーチで、少々頭も使って、楽しかったです。(坂本 千春)
- 畠中兄が「少年少女のキャンプ体験の必要さをうつつえられたことは非常によい示唆だった。(鈴木 謙介)
- 1年前と同じ道を、今日は悔むことなく無事出席できました。今年はしっかり見て、話して、聞いて、ゆとりを持っていきたいと思っています。合同メネット会に向けてのメネット活動も楽しんでいます。(隅田 恵子)
- 大寒に入りました。この時こそ元気を意識しよう。気持を若くして。(谷川 俊一)
- 新年を迎え、8月、アメリカンの子もたちと会えるのが楽しみです。(中村 茂高)
- 右ひざの手術、入院の折にはご心配いただきありがとうございました。健康の大切さをしみじみ感じております。(中村 幸枝)
- 今日の例会で改めて、大阪YMCAの使命の大切さを思いました。「未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます」皆さんと共に実践していきたいと思えます。(浜野 昌保)
- 寒い中にも元気に恵まれ感謝です。畠中君のスピーチは、面白いだけでなく、大いに考えさせられることが多く驚きました。(福永 嘉彦・滋子)
- 今日はとても寒い日でした。16人の出席者でこじんまりとしたなごやかな納会でした。畠中さんのお話、いろいろ考えさせられました。(松浦 和子)
- 年が改まって、新しい人生を生きるという思いがします。が、あわただしく、いつも何かに追われている感じは依然変わっていません。どうしたものでしょうか。(松浦 孝次)

- 「今年もアメリカンキャンプを・・・」と決めてスタートした新年例会。そのスタートの時、「今なぜキャンプか」という視点を学習し、確認できたことは意義深いです。(山田 孝彦)
- 新年を迎え、新たなワイズライフをめざします。自然とのふれあいは人間にとって大事ですね。(三浦 直之)

個人消息

- 石津雅人メンのご母堂がご逝去され、1月22日葬儀がとりおこなわれました。心からお悔やみを申しあげます。わがクラブから山田孝彦書記が代表して参列しました。
- 中村幸枝メネットは、脚の治療(右膝に20針を縫われたとのこと)を一応終えて、1月例会に出席されました。どうかご無理をされませぬよう。本復をお祈りします。



(1月例会の風景 II - 開会前の打ち合わせ)



(1月例会の風景 III - 「野外キャンプはいいもんですよ」)

《 編集後記 》

- 2月例会は、宝塚歌劇団で、真帆 志ぶき、汀 夏子さんたちの相手役をされ、退団後も東宝ミュージカルで「ラ・マンチャの男」や「スカーレット」などに出演された可奈 潤子さんをお迎えします。どういお話をしていただけるか期待しています。ぜひともゲストの方々をお呼びしましょう。(松浦 孝次)